

め中國、名古屋等本州に輸送され残る二割が九州各地で消費されてゐるのである。

參考文獻（其一）

- ①陸地測量部 五萬分之一地形圖大村、諫早、彼杵。二萬五千分之一地形圖大村、武留路山、彼杵。
- ②小倉勉 多良嶽火山（震災豫防調査會報告、第九十號）

南支那の交通

西 龜 正 夫

道 路

今夏南支那を視察する機會を得たので、その筆記帳の中から主として交通に關することを抜き出して見やうと思ふ。勿論陸の旅行であるし、在留日本人ばかりを搜し廻つた形であるから、事の真相をつかむことは中々むづかしく、いゝ加減の推測や早合點をするのも已むを得なかつた。併し概して云へば想像以外の事實が多く、それによい意味に於ての驚くべきことが澤山あつたのである。

田舎道はあまり歩いて見る機會が無かつたのでほんの汽車の窓から覗いて見ただけであるが日本の田舎と比べて何程の差があるかはよくわからなかつた。水田がよく開け耕作は行き届いて寸地も餘して居ないので、畦畔の小道は日本も同様である。窓の深い百姓が兩側から道路を削りどるので、次第に狭くなつたのだとハンチ

- ③三澤勝衛 八ヶ岳火山西南山麓に於ける小圓丘群（地理教育第一卷）
- ④同 八ヶ岳火山々麓の景觀型（地理學評論第五卷）
- ⑤渡邊光、今泉政吉 日本群島に於ける火山の分布並に地理學的火山群の設定（地理學評論、第三卷）
- ⑥森壽美術 長崎縣の人口分布に就て（地球、第十一卷）
- ⑦高見米一 大村郷土讀本

ントンか誰かの論文で見た様だが、或はそうであるかも知れない。たゞ一つ珍らしく思つたのは汕頭から潮州に行く間の所見であるが、田圃の間の曲りくねつた小道が立派なコンクリート（と云つても實は支那式漆喰だとの事であつたが）で出来てゐるものゝあつたことである。高さ一米内外、幅も一米か一米半もあつたらうか長さ數百米に亘つて蜿蜒と續いて居た。

それについて感じたことであるが一體に支那では道路を重んずる。殊に町の中では格別立派にしてゐるといふことは、日本あたりの及びもつかない點である。厦門の裏町を歩いた時にも思つたが、幅僅かに二米か三米しか無い様な狭い街、兩側の家は貧民窟らしい様な、至つて不潔で臭くて見すばらしい街であるにも拘はらず街路は全部石を敷きつめ、石の下は大きな下水道になつてゐるのである。敷いた石には凸凹も多いので、車なんかは通れさうにないが、日本の泥濘に比べたら一段も二段も上等である。支那のことを書いた地理書と云へば、何でも臭い

とか汚いとかいふことばかり誇張的に書いて居るが、臭いのは慣れない外人のために臭いのである。あつて支那人自身には臭くないのである。そして道路の舗装とか下水設備とかいふことを近年やつと學んだ日本人よりは、遙かに文明が先に進んで居る様に思はれるが、こういう長所を紹介した書物はこれ迄あまり見なかつた様に思ふ少くとも私の目に觸れた範圍に於ては。

ところが一層驚いたことは各地の大都市に於ける都市計畫、殊に街路築造の模様である。廣東なども城壁をとり除いて大街路を建設中で、郊外に至るまで自動車の行く處は凡て舗道である。厦門でも、街路は狭くても十米から十五六米、廣い處は二十米以上もあつて、その兩側に亭仔脚があるからこれを人道とすれば車道は廣いものである。何處まで行つても舗装が立派に出来てゐるのでほんとに氣持ちがよい。

併しかうして街路を取り擴げるについては、否應なしに土地を收容するので、グズ／＼云へば家屋は打ち壊しておまけに街路の築造費まで

負擔させる。工事には兵隊を使ふのだから、費用がかゝらぬ。土地の所有者は大抵富豪であるから、税金のつもりで政府の無理に應じてゐるのだといふことである。かう云ふところは一寸共產主義的である。

路上機關

自動車増加は最近頗る著しいさうで、どの都會でも一日何臺と云ふ勢で増加しつゝあるといふ。併し街路には日本と違つて用事の無い人間が非常に澤山群集してゐるし、それ等が無智文盲で交通上の訓練など勿論出来てゐないから自動車に對する危険は非常に大である。そこで交通巡查が澤山採用されてゐる。大通りでは五十米か百米おき位に棒を持つた巡查が立つて居て、廻り角であつても無くても自動車の通過する度毎に手を上げて群集を制して居る。これでも無くては實際あふなくて仕方があるまい。香港や澳門では特に背の高い印度人の巡查が採用されてゐる。

腕車の多いのは人口過剰の國にふさはしい現象である。その賃錢も亦一町一錢位のもので随分安い。車夫は勿論貧民階級で自分で車を所持するものは無く、皆借り車なのである。そして彼等の生活は一日二三十錢で充分なのであるから、一度か二度か客をとれば半日で車を返す、次の車夫がこれを借るといふ風で、中には一日三人も交代するのがある。その客引きの争ひのはげしいことは全くうるさくてたまらない。

自轉車は非常に少い。これは山地の多い日本とは事情が違ふのでもあらうし、又文化の程度にもよることゝ思ふ。一輪車は廣東で肥取り車に見た位のもので、上海には多いが南支那は少い様だ。トラックが少ないので荷車は非常に多い。その大きな車輪に古タイヤを巻きつけて居るのは道路保護の施設である。特殊の交通具としては香港の轎が著しい。階段ばかりで街と住宅とが結びつけられて居るのだから、これより外に適當な交通具は無いのだ。そのフワリ／＼と揺られる乗り心地は頗る趣味的である。

鐵道

鐵道はまだ斷片的に出來てゐるばかりで、おまけに外資によること例の通り、併し今では多くは回收してゐる汕頭から潮州に行く鐵道にしても、今年の四月までは日本人が多數關係して汕頭の驛長も日本人であつたのが、今は全然支那人ばかりの經營になつてゐる。併しこれは當り前の話である。車内も清潔で發着の時間も先づ正確、女車とあつても男子が乗り込んだり、二等車へ三等客が入つたりするのは、要するに文字の讀めない連中なのだから已むを得ない。それ故兵隊が乗り込んで整理する必要もあるのだらう。

廣東から九龍への汽車に乗ると一枚の宣傳ビラを呉れた。それには『廣九鐵路是中國國有之鐵路、中國是國民之國家、所以廣九鐵路就是國民之鐵路、我國民衆爲國家利權計、應聯合起來用回自有之鐵路、造旅行之利器』と書いてある。國家のために汽車に乗れも振つてゐるが、これ

の讀める様な客は三等には先づ一人も乗つて居ない。二等と一等は大抵外國人だ。汽車賃は二等が三等の二倍半、一等が約四倍といふ様に、貧富の懸隔の大きいことを物語つてゐる。一寸珍らしく思つたのは枕木が花崗岩で出來てゐることであつた。これでは枕木でなくて枕石だらう。木材の少い國、そして石材の多い地方にはこうしたこともあることかと思つた。

水路

水路交通の發達してゐることは先づ豫想の通りであつた。到る處の川に小舟が通つてゐる。赤い泥水は一向有り難くないけれど流れはゆるやかで水量は多い。併し汽船は多く外國の經營で、香港を中心として廣東・澳門・廈門・福州等の各地に達する定期船はイギリスが殆ど獨占的。日本が少しく割り込んでゐる位のものである。けれどもそれは表面の話、そのイギリスの汽船にも日本の汽船にも、働いて居る水夫は大部分が支那人なのである。香港や澳門の様な外國

領地に行つて見ても、人間は大部分が支那人で英人や葡人は搜し當てるにも困難な位である。そこで或支那人の曰くが面白い『英國は香港を支那から奪つたといふが、あゝして道路を作り上下水を設け、瘴癘の地を健康地にして呉れてそして支那人に儲けさせて呉れる』と。實際儲けてゐるのは支那人ばかりかと思はれるほどだ併しそれでイギリスも儲けてゐるのだからほんとの共存共榮であらう。交通機關についてもこの共存共榮を到る處で見せつけられた。

北歐の地學界 (一)

滯歐通信その二

今村學郎

ストツクホルムへ

船はノイアルドを縦ふ様にして西へ西へと進んだ。無數の島影が次々に顯はれては船尾に消えた。最早目的港までは二三時間の航程であらう。私は長らく夢見て居たこの北歐の主都を、美しく晴れた九月の陽光の下に訪れる事を深く幸福

船舶が多い。汽船が入港すれば猛烈に蟄集する。まだ船の進行中から鉤をかけて船内に乗る。込む海賊的の苦力もある。皆客をとるための競争なのだ。二本の櫂を兩手で押して進む處は滑稽に近いが、中には日本の櫓の様な使ひ方をするものもある。兎に角モーター船などが無いのはこゝにも勞力過剰の世相が窺はれる。港のそこゝに散在する無數の船舶、その何割が仕事に有りついてその日の煙を立て得ることか。支那の人口は慥かに過飽和の状態にある。

だと感じ乍ら、長い間船橋に立ち盡したのであつた。

同じ日の朝、左舷の窓から、水平線どスレスレに延びたいやに平坦な陸地を見たときは、何だかあまり平すぎて期待が外れたやうな氣がし